

令和7年度長野県工業技術動向調査結果の概要

産業技術課

1 調査概要

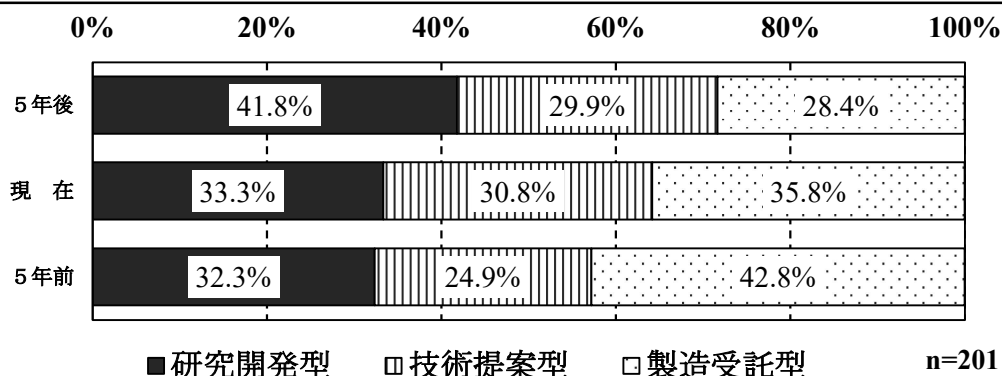
- (1) 目的：県内製造業の工業技術に関する最近の動向を把握し、今後の技術支援施策に反映する。(隔年実施)
- (2) 調査時期：令和7年9月から12月
- (3) 調査方法：工業技術総合センター職員による訪問、メール等での聞き取り調査
- (4) 対象企業：県内企業 201 社

2 結果概要

(1) 全業種

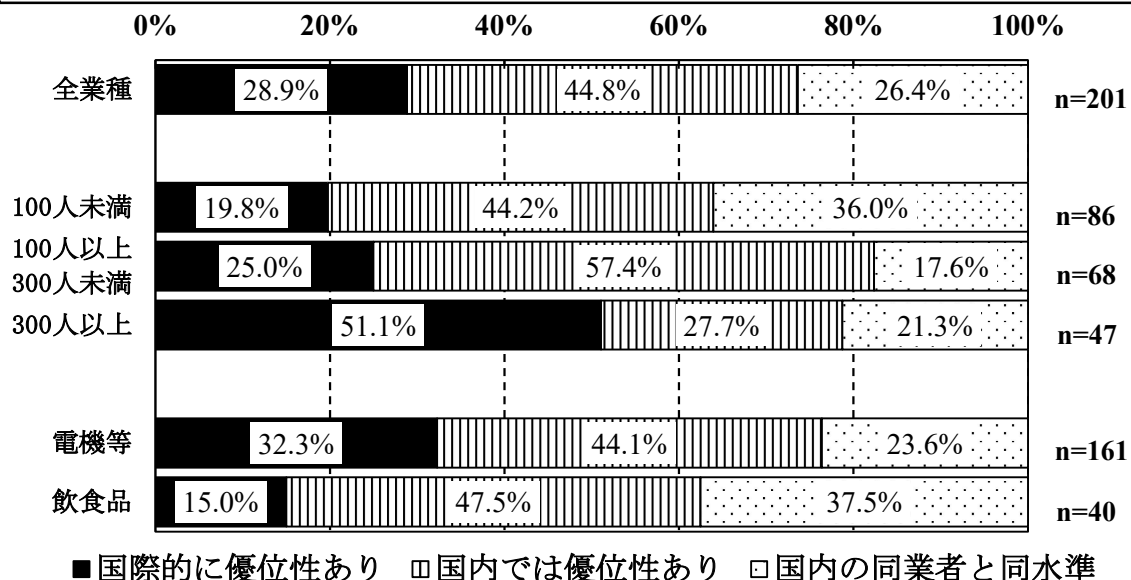
ア 事業形態の認識

- ・「研究開発型企業」は、「現在」の33.3%から「5年後」は41.8%と増加した。
- ・「技術提案型企業」は、「現在」の30.8%から「5年後」は29.9%、「製造受託型企業」は、「現在」の35.8%から「5年後」は28.4%と減少した。
- ・「5年前」との比較では、「研究開発型企業」及び「技術提案型企業」は増加し、「製造受託型企業」は減少した。



イ 最も強みのある技術の優位性

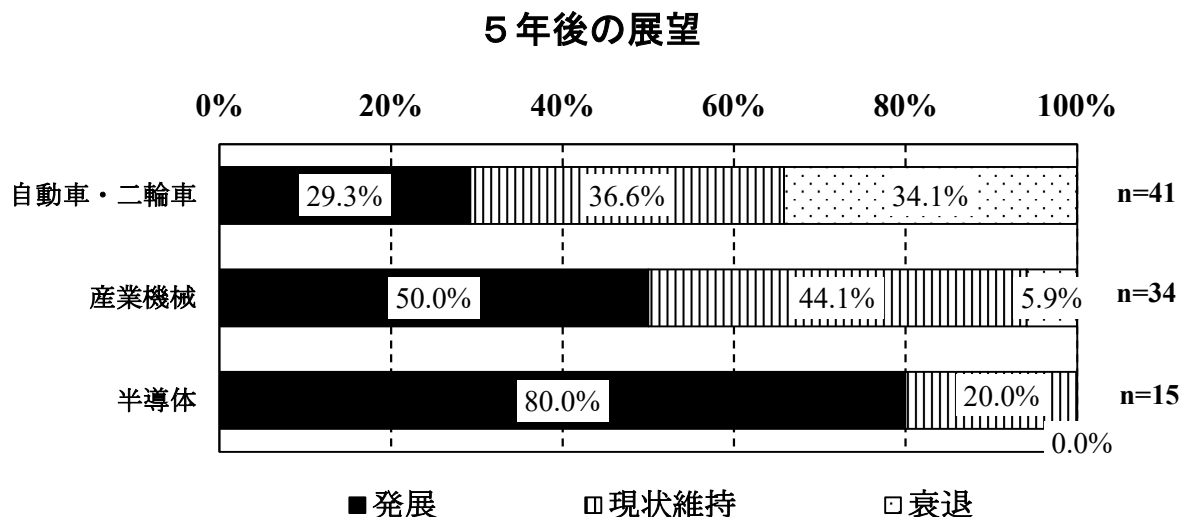
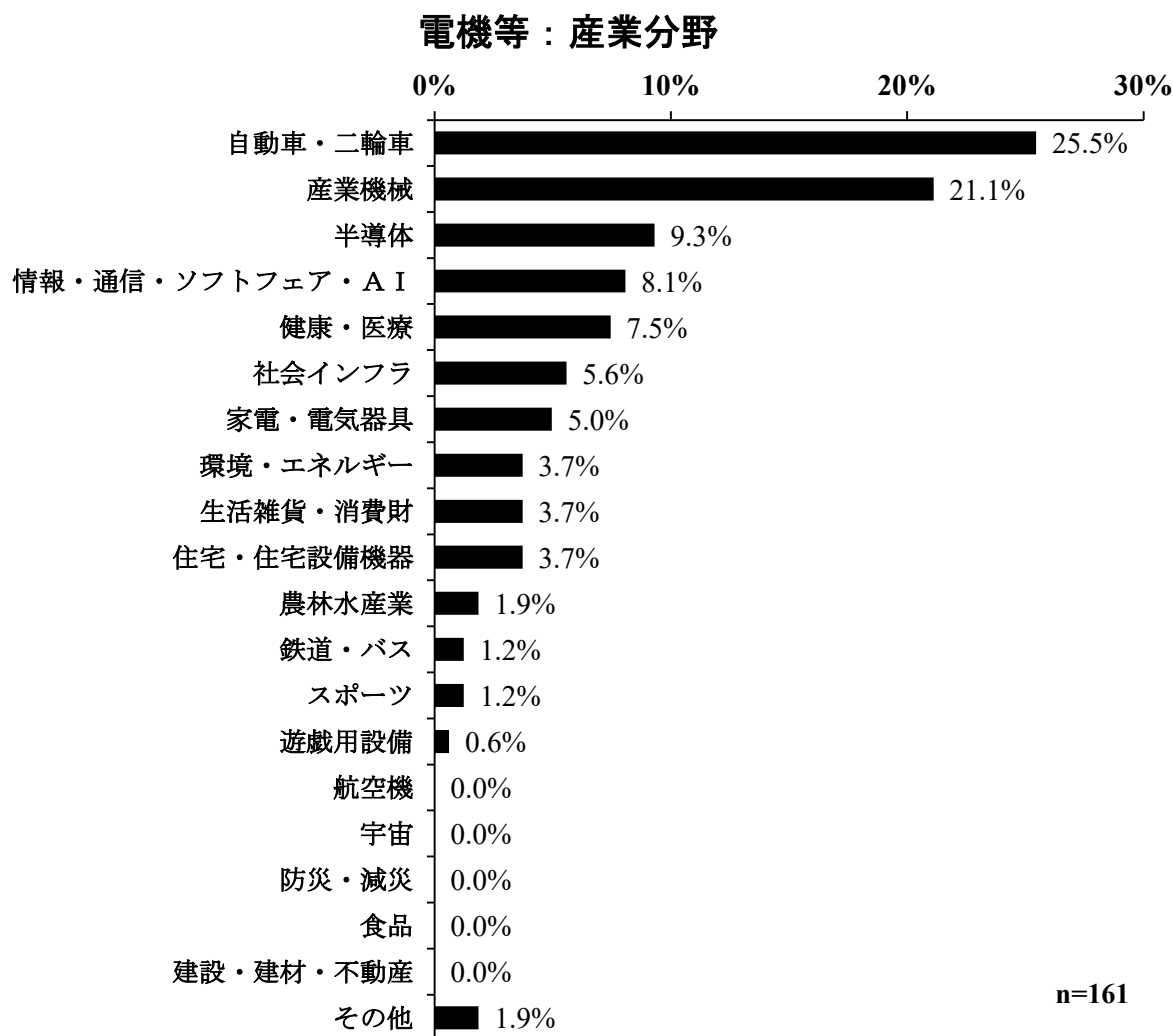
- ・「国内では優位性あり」が44.8%、「国際的に優位性あり」が28.9%、「国内の同業者と同水準」が26.4%の順となった。
- ・従業員数が多いほど、「国際的に優位性あり」が多かった。
- ・業種別では、電機等は飲食品と比較して「国際的に優位性あり」が多かった。



(2) 電機等

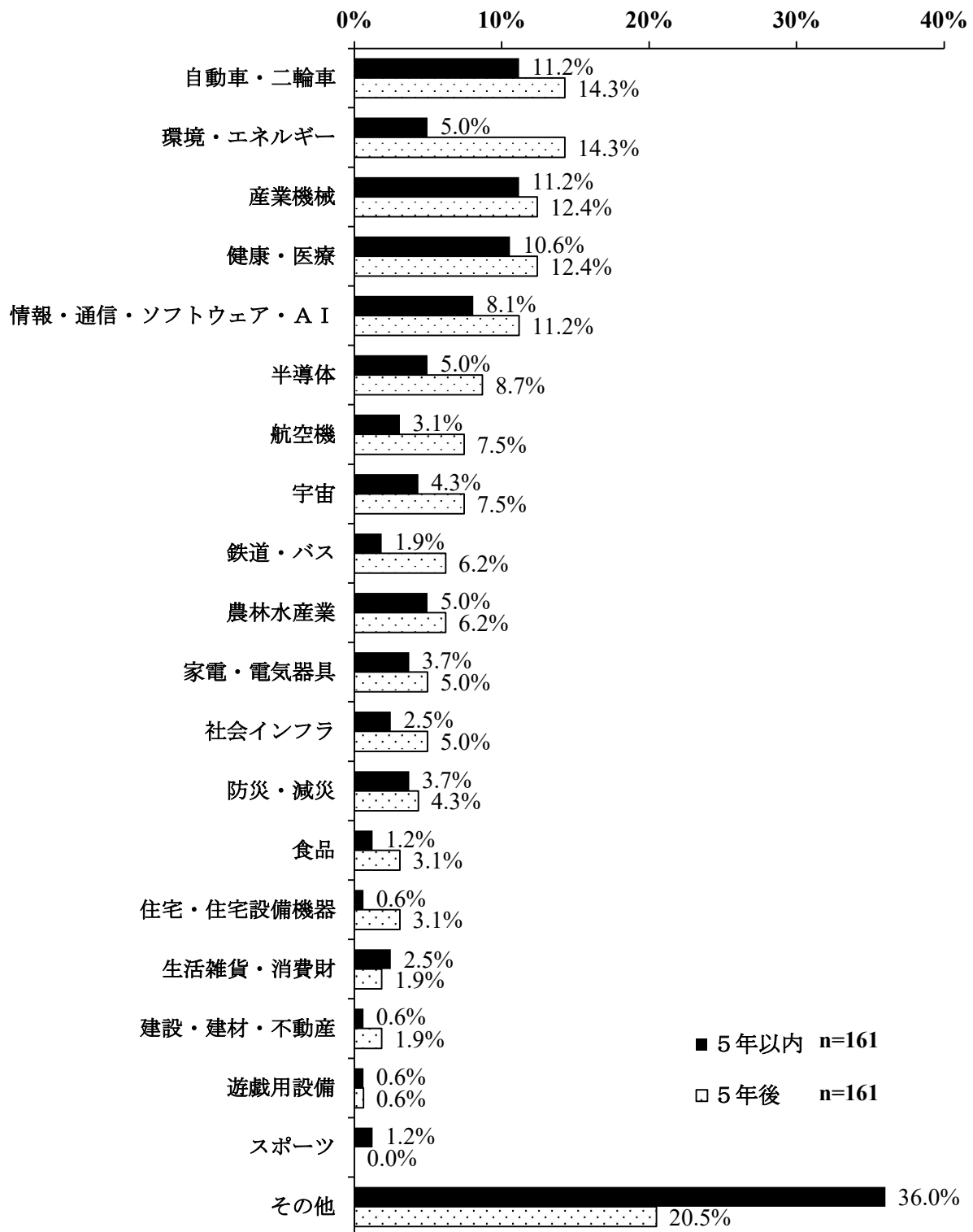
ア 最も売上が多い産業分野

- ・「自動車・二輪車」が25.5%と最も高く、「産業機械」が21.1%、「半導体」が9.3%の順となった。
- ・「5年後の展望」については、「自動車・二輪車」では、「現状維持」が36.6%、次いで「衰退」が34.1%、「発展」が29.3%となった。
- ・「産業機械」と「半導体」では、「発展」が最も高く、それぞれ50.0%、80.0%となった。



イ 新たに関わり始めた産業分野（複数回答）

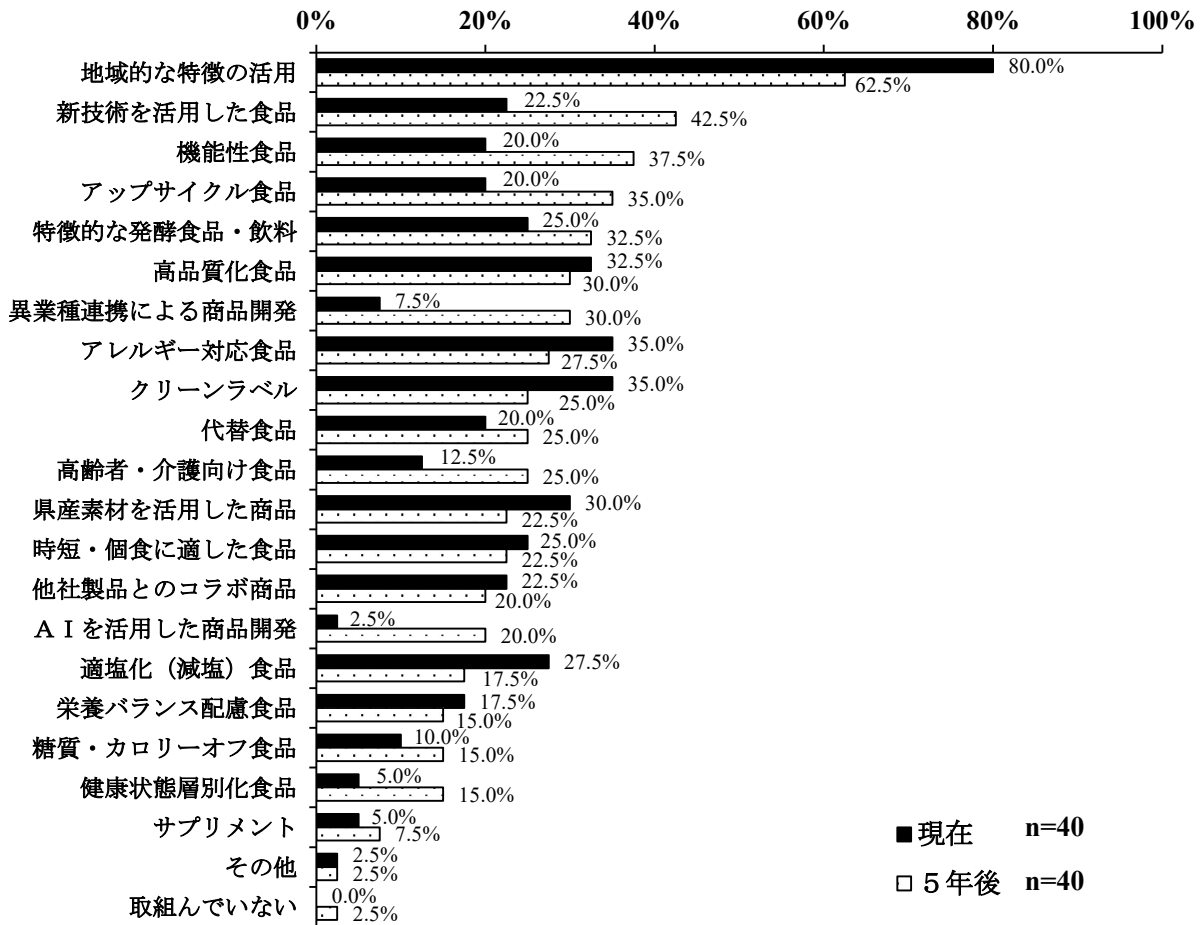
- ・最近5年間で新たに関わり始めた産業分野では、「自動車・二輪車」「産業機械」が11.2%と最も高く、「健康・医療」が10.6%、「情報・通信・ソフトウェア・A I」が8.1%の順となった。
- ・5年後新たに関わりを強めたい産業分野は、「自動車・二輪車」と「環境・エネルギー」が14.3%と最も高く、「産業機械」「健康・医療」が12.4%の順となった。



(3) 飲食品

ア 食品開発の取組（複数回答）

- ・ 5年後に取組みたい分野では、「地域的な特徴の活用」が62.5%と最も高く、「新技術を活用した食品」が42.5%、「機能性食品」が37.5%の順となった。



イ ブランド力向上のための取組（複数回答）

- ・ 5年後に取組みたいことは、「HP、ECサイト、SNSによる発信」が65.0%と最も高く、「全国、県品評会等への出品」が60.0%、「商品デザイン・ネーミングの改良」が55.0%の順となった。

